

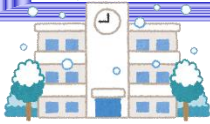
油谷小だより

令和3年 2学期最終号
NO.10 12月24日
長門市油谷新別名10666
TEL (0837)32-1102

油谷小 HP:

<http://member.hot-cha.tv/~yuyashogako/>

長門市立油谷小学校 校長 長廻 修



コミュニティ・スクール&油谷みすゞ学園



先日、油谷コール（合唱サークル）の8名の方々にご来校いただきました。音楽の時間を利用して、4年生の子どもたちといっしょに合唱をしてくださいました。寒い体育館ということもあり、子どもたちは、声が出にくかったのですが、美しい歌声をめざして練習し、男女で「子どもの世界」をのびのびと二部輪唱する様子が見られました。また、少し前には、郷土歴史文化会長の高林様が、6年生に通貨の歴史の授業をしてくださいました。物々交換の後、貝や金や銀が貨幣として使われたことなどを教わりました。そして、5年生は、今まで米作りでお世話になった営農組合の方々とライスパーティーを開催し、大成功させました。さらに、1月には、菱海中訪問ウイークが計画されています。菱海中学校の先生方が6年生に授業をしてくださいます。子どもたちは、多くの大人に囲まれながら学んでいます。

さて、なぜ多くの大人がこうやって油谷小に足を運んで下さり、子どもたちの指導に協力してくださっているのでしょうか？この理由は、少し大きな話になりますが、子どもたちを取り巻く環境とこれからの予測困難な社会が大きく関わっています。今の子どもたちは、少子化や核家族化の影響からか、人や社会と関わる経験が少ないと言われています。それにより、集団内のトラブルを解決することが苦手だったり、傷つきたくないために友達との関係に深入りすることを避けようとする傾向があるようです。自分と気の合う仲間だけで「小さな社会」をつくり、自分たち以外の「社会」に関心を示さなくなってしまう。見えないところで支えて下さっている方々の存在を想像し、感謝の気持ちや優しい気持ちを土台とした規範意識が育ちにくい環境にあります。このような現状を改善し、未来の予測困難な社会を力強く生きていくためには、様々な大人と関わり、より多くの価値観に触れさせることが重要となります。小中一貫教育のしくみである「油谷みすゞ学園」で、小中学校の先生たちと、また子どもたち同士が交流するのも同じ理由からです。今ある「人」という資源を最大限活用して育てていくためです。つまり、油谷小内の教育力を100%とすると、地域や油谷みすゞ学園の教育力のおよそ20%を加えて120%の効果を発揮させようとしているのです。そのすばらしいしくみが定着しているのが油谷小の最大の特徴です。

85日間という長かった2学期が終わります。新型コロナウイルス感染拡大の影響に脅かされた2学期でしたが、子どもたちが落ちついて学校生活を送り、多くの方々と今までにない大きな学びや喜びを得ることのできた2学期でした。保護者や地域の方々のご協力のおかげで無事に2020年を終えることができます。ありがとうございました。

お知らせ

右のような内容で、授業研修会を計画しております。講師が授業をしてくださる内容で、市内の先生方にもお声掛けをしております（現在24名参加）。ランチルームにモニタを設置し、参観者の密集を防ぎます。今回は、先生方対象の研修会とします。
※実施できるかどうか、1月8日に判断します。

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 1 講師 | 教育実践研究家 菊池 省三 |
| 2 期 日 | 令和3年1月13日（水）
13:40~16:30 |
| 3 内 容 | ・菊池先生による授業
（対象:5年生 教科:国語）
・講話 |

